

【改めて“ヒト”と“組織”を考えるシリーズ12】

目的がないとガンバレない時の目的探し法

難しい人間関係の基本的な部分を見るための『まねじめんと』

【何のために…?】

たとえば『何のためにこんなことをやっているんだらうな、俺たち…』というセリフが、ドラマなどで“やる気をなくした働き手”の口から語られることが少なくありません。

仕事ばかりではなく、『何のため…』を見失うと、どんどん気分が重くなり、活動意欲が湧かなくなるのも事実かも知れません。

【厳しい状況でこそ必要な目的志向】

特に昨今のような“厳しい”経営環境の中では、『何のためにこんなことを…』と考えてしまう瞬間に、ドッと疲れが出てしまうものです。

しかし、こうした厳しい今日だからこそ、事業にも従業員一人一人の業務にも“何のために”を明確にする“目的志向”が必要なのでしょう。

【しかし“目的”って何?】

ただ、“目的”は一見考えやすそうで、案外難しいものです。『この事業の目的は?』『この業務の目的は?』と改めて考えてみても、なかなか答が見つかりませんし、たとえ見つかったとしても、“辞書的な説明”のような言葉が並ぶなら、実践的な意味を感じないかも知れません。

【ヒントになった一つの言葉】

ところが、一つの“言葉”から、どのように考え始めれば“目的志向”が現実になるかを体験された経営者がおられます。

もちろん、最終的に事業チャンスの拡大や従業員の“組織的活動”をもたらしたのは、経営者をはじめとする皆様の行動であり努力なのですが、そのきっかけは“言葉”だったというのです。

【きっかけは社会科の授業?】

しかも、その“言葉”は、経営者の息子さんが学校で“社会科”の時間に、先生から“余談”として聞いたものなのだそう。

言葉自体は“目的は存在理由を明らかにすることだ”という、やや哲学的なものです。それがどのように現実の事業や業務に“影響”して行ったのか、その経緯をまとめた“経営レポート”をご用意しました。

【レポートを定期購読しませんか?】

この“経営レポート”は、事例を中心として簡潔に取りまとめています。

定期購読(有料)希望者にはレポートを毎月お送りしますので、ご遠慮なくご一報ください。



事業活動や従業員の日々の業務に、なかなか“元気”が戻らないとしたら、やはりそれは“目的”を見失っているからかも知れません。そうでなくとも一般には、“目的を明確に意識している人は強い”と言われ、目的の存在は強さや元気の源だとされることが多いのです。

ところが、いざ“では何が目的か”と考え始めると、これが意外に難しいもので、なかなか“ピン”と来る答に行きつきません。ところが…。

少数精鋭でビジネスに取り組む皆様に、現代的な“人”マネジメントの視点から、重要なニュースやノウハウをお届けする月例『経営さぷりめんとニュース』にご意見やご感想をお寄せください!

行政書士・社会保険労務士へんみ事務所

TEL : 022-292-2351

FAX : 022-292-2352

URL : <http://www.henmi-adm.jp/>

わたくしたちは、“ヒト”に関する重要課題の提言を通じて、皆様方の経営をご支援申し上げます!